

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2023 年 7 月 5 日
明治大学の所属学部・研究科	国際日本学部国際日本学科 (学部/ 学科/ 研究科/ 専攻等)
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2023 年 6 月 24 日
明治大学卒業予定年月	2024 年 3 月
<b>留学先大学について</b>	
留学先国	イギリス
留学先大学	ヨークセントジョン大学(日本語名) York St John university(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語 / 英語
留学期間	2022 年 9 月～2023 年 6 月
留学先大学で在籍した学年	年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): (現地言語での名称):  <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例: 1 学期/4 月上旬～7 月下旬、 2 学期/9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 9 月下旬 ～ 1 月中旬      2 学期: 2 月上旬 ～ 6 月上旬 3 学期:    ～                              4 学期:    ～
学生数	8300
創立年	1841 年

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (£)	日本円	備考
授業料	£0	0円	
宿舍費	£4,512	約 800,000 円	
食費	£2500	450,000 円	
図書費	£0	0 円	
学用品費	£30	5,000 円	
携帯・インターネット費	£100	17,000 円	
現地交通費	£20	3,400 円	( <input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	£600	100,000 円	
被服費	£100	17,000 円	
医療費	£0	0 円	
保険費	£470	78,000 円	形態: HIS(イギリスの国民保険)
渡航旅費	£2,100	350,000 円	
ビザ申請費	£360	59,000 円	
雑費	£2,000	350,000 円	旅行代など
その他		円	
その他		円	
合計	£13,000	2,230,000 円	ポンドが 160 円から 180 円の間で上下していたので多少の誤差があると思います

渡航関連	
<b>渡航経路</b>	
往路 出発地: 成田 目的地: マンチェスター 経由地: フランクフルト	
復路 出発地: ロンドン 目的地: 羽田 経由地:	
<b>渡航費用</b>	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金:	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: JAL 料金: 15 万円 復路 航空会社: ANA 料金: 20 万円 ∴合計: 35 万円	
<b>航空券購入方法</b>	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: )	
<input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: 航空会社の HP)	
<input type="checkbox"/> その他( )	

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前:シティレジデンス) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 )

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

大学からの紹介

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

キッチンのみ共有でそれ以外は全てプライベートな空間だったのでバランスが良く、生活しやすかったと思います。

## 現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)

なし  
あり(治療を受けた場所: )

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし  
あり(問題の内容や相談した人等: )

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

比較的安全な街と言われていた上に小さな街だったので、なるべく夜道を一人で歩かない以外、特に強い防犯対策はしていませんでした。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

一度だけ寮の Wi-Fi が休暇中にシステムエラーを起こして 2 日間ほど使えなかった時以外はトラブルがありませんでした。その時も大学の Wi-Fi は動いていたので、キャンパスに行って動画などをダウンロードしに行きました。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

全てクレジットカードで決済していました。現金を使うことはほとんど無く、50 ポンドほどしか持っていかなかったと思います。友達同士で送金し合うために、monzo という現地のオンラインバンクを開設しそのデビットカードもたまに使っていました。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

アジアマーケットやオンラインショッピングがあるので思ったよりもなんでも手に入ります。ただ、物価が 2 倍から 3 倍するので、スーツケースに入る限りの日用品を持っていくと節約できると思います。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
120 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to sociological theory	社会学入門
科目設置学部・研究科	Sociology
履修期間	1 学期
単位数	20
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャーとセミナー (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 180 分が 1 回
担当教授	Tyson Mitman
授業内容	社会学の基礎的なテーマについて
試験・課題など	中間と期末にエッセイを提出
感想を自由記入	マルクスをはじめとする社会学の基礎的な概念を学び、自分が興味を持ったテーマについてのエッセイを書きました。アメリカ人の教授だったのでイギリス英語に慣れていない最初の数週間は特に聞き取りやすく感じて楽しい授業でした。



履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Understanding world politics		国際政治基礎	
科目設置学部・研究科	International relations		
履修期間	1 学期		
単位数	20		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	レクチャーとセミナー(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 180 分が1回		
担当教授	Samuel Jarvis		
授業内容	国際政治をベースとした国際関係学について		
試験・課題など	中間と期末にエッセイを提出		
感想を自由記入	大英帝国としての歴史を持つイギリスの視点から考える国際関係学は、日本で学んだものとは違って新鮮で面白かった。紀元前の歴史からロシアのウクライナ侵攻まで幅広いトピックを学び、世界各国からの生徒とのディスカッションを通して理解を深めた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Tourism insight and industry		観光の見識と産業	
科目設置学部・研究科	Business management		
履修期間	1 学期		
単位数	20		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	ワークショップ(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 180 分が 1 回		
担当教授	Anna Hill ・ Jenny Hall		
授業内容	観光業がもたらすインパクトなどについて		
試験・課題など	グループプレゼンとエッセイの提出		
感想を自由記入	せっかくなら専攻外の勉強をしてみようと思い履修したが、先生方がとても優しく親身に接してくれたので、安心して受講できた。ヨークにある観光スポットのプレゼンをグループで行ったり、観光業が抱える問題などについてディスカッションをしたりして理解を深め、期末にエッセイとしてまとめた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Social inequalities key themes		社会的不平等に関する主要テーマ	
科目設置学部・研究科	Sociology		
履修期間	2 学期		
単位数	20		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	ワークショップ (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 180 分が 1 回		
担当教授	Robyn Timothy		
授業内容	貧困や教育格差などの社会的な不平等について学ぶ		
試験・課題など	中間と期末にエッセイを提出		
感想を自由記入	1 学期の社会学とは変わって、より実践的な社会学の問題について考える授業でした。資本主義がもたらす社会への影響など、1 学期で学んだことをベースとした問題提起があり、実際のイギリスという国家で起こっている問題について考えるなどとても面白い授業でした。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Event planning and development		イベントの企画と開発	
科目設置学部・研究科	Business management		
履修期間	2 学期		
単位数	20		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	レクチャーとセミナー(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 180 分が1回		
担当教授	Winojith Sanjeeva		
授業内容	イベントを企画するプロセスやその段階で起こりうるリスクマネジメントなどについて		
試験・課題など	グループでイベントを企画しそのプレゼン・期末にエッセイを提出		
感想を自由記入	イベントを企画するだけでもこれだけのプロセスがあってその全てに責任が伴うのだと実感することができて、社会人になった時に役立ちそうだと思うような学びがたくさんありました。グループで一つのイベントを企画するために、授業の前後で集まってたくさん話し合いをするなど、大変な部分もありましたが、教授たちが親切なので困った時にはすぐに相談に乗ってくれました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Aid, Inequality and development	援助・不平等と開発
科目設置学部・研究科	International relations
履修期間	2 学期
単位数	20
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャーとセミナー(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 180 分が1回
担当教授	Ayla Gol
授業内容	後発国が抱える問題やその改善策について
試験・課題など	ケーススタディとエッセイの提出
感想を自由記入	先進国がもたらしてきた、特にイギリスは植民地支配など、後進国への影響について学びその責任を負うべき国や機関、その方法などについて考える授業。都営前から受けたかった開発学の授業だったのでとても楽しみにしていましたが、1/3 くらいはストライキで講義がなくなったので残念でした。



## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)

就職    進学    未定    その他:

2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

3 年で 1 年間の留学を始めると、国内大学院の院試は帰国時にすでに受験が始まっていたりするので、計画的に行動するべきだと思います。また、研究計画書などに必要な文献などが外国からだとアクセスしづらいなどもあるので、日本にいるうちから少しずつでも準備を始めると後々やり易いと思いました。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	試験勉強
	4月～7月	TOEFL 受験
	8月～9月	
	10月～12月	
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	ビザ申請・取得、滞在先の確保、航空券購入
	8月～9月	渡英
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	休暇
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

## 留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

国際関係学の発祥の地であるイギリスの大学で勉強したいということでヨークセントジョン大学に出願しましたが、ヨークという街はとても歴史的な場所で、落ち着いていてすごく留学に適した場所だったなと思います。

渡英して 2 週間くらいはイギリス英語、特にヨークシャーアクセントに耳が慣れず、なかなか聞き取りづらい相手もいましたが、それ以降は徐々に慣れて授業もその他のアクティビティも楽しく取り組むことができていました。

イギリスの大学はリベラルアーツのような授業がなく、専攻を徹底的に勉強することで3年制のシステムができていますので、アメリカの大学のような自由度がないように感じるかもしれませんが、留学生は好きな授業を取れるシステムだったので、自分が興味のある分野を細かく学べるという点ですごくおすすめできると感じました。

ヨークセントジョン大学には日本語専攻もあるので、日本に興味がある生徒や、実際に留学する生徒が多いので、現地生とも知り合える機会があると思います。また、留学生が多いため、世界各国からの友達が出来ます。

ロンドンまでも、マンチェスターまでも2時間かからずに行くことができますし、街自体は多くのレストランやカフェ・スーパーがあるので不便だと思ったことはありません。

留学を志すにあたって多くの不安があると思いますが、とにかく英語力があれば困ることはないと言えると思います。また言語に困らなければ現地でも友達作りは難しくないですし、アルバイトやボランティアをしたり、色々と挑戦できるチャンスも幅も広がると思います。日本にいるうちに出来ることは全てやっていく！くらいの気概で頑張ってみてください！

留学先での生活を動画にまとめていたので、もしもヨークセントジョン大学やイギリス留学に興味がある人はご連絡ください。:)

